



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5981 URL <https://www.tokyorope.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田英幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務部長 (氏名) 喜旦康司 (TEL) 03-6366-7777
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	15,260	5.8	620	△17.1	851	△1.4	607	△9.8
2026年3月期第1四半期	14,418	△3.3	748	22.5	863	11.4	673	△15.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,081百万円(105.1%) 2026年3月期第1四半期 527百万円(△51.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	39.42	—
2026年3月期第1四半期	43.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	89,741	41,573	46.3
2026年3月期	89,071	41,191	46.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 41,573百万円 2026年3月期 41,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		30.00	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	4.5	4,300	△11.3	4,400	△14.3	3,000	△13.8	192.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	16,268,242株	2026年3月期	16,268,242株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	848,089株	2026年3月期	847,950株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	15,420,241株	2026年3月期1Q	15,592,120株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式 (2027年3月期1Q : 126,100株) を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 2 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、開発製品関連において前期に貢献したC F C C事業のプロジェクトが概ね完了したことによる反動減があったものの、鋼索鋼線関連及び産業機械関連の売上が増加した結果、売上高は15,260百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

利益面につきましては、操業コストの低減等に努めるとともに、諸資材や人件費等の物価上昇に伴う販売価格改定を進めてまいりましたが、価格改定までのタイムラグの影響に加え、高付加価値製品であるC F C C事業の売上減少等により、営業利益は620百万円（前年同期比17.1%減）、経常利益は851百万円（前年同期比1.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は607百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（鋼索鋼線関連）

繊維ロープ製品において、スポット案件の販売量が増加したことにより、当セグメントの売上高は7,539百万円（前年同期比6.2%増）となりました。利益面につきましては、鋼索鋼線製品における諸資材や人件費等の物価上昇があったものの、繊維ロープ製品の増収効果により吸収し、営業利益は723百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

（スチールコード関連）

タイヤ用スチールコードの販売数量増加に伴い、当セグメントの売上高は1,250百万円（前年同期比12.3%増）となりました。利益面につきましては、操業改善によるコスト削減に努めたものの、諸資材やエネルギー価格及び運賃等の上昇を補いきれず、210百万円の営業損失（前年同期は77百万円の営業損失）となりました。

（開発製品関連）

高付加価値製品であるC F C C事業のプロジェクトが概ね完了した反動減により、当セグメントの売上高は3,355百万円（前年同期比6.3%減）、営業損失は192百万円（前年同期は5百万円の営業利益）となりました。

（産業機械関連）

粉末冶金事業において、原材料価格高騰に伴う販売価格への改定を進めた結果、当セグメントの売上高は1,239百万円（前年同期比33.3%増）、営業利益は114百万円（前年同期比286.7%増）となりました。

（エネルギー不動産関連）

石油製品事業において市況環境に応じた販売価格の是正を行った結果、当セグメントの売上高は1,875百万円（前年同期比10.6%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費等の抑制に努めた結果、営業利益は184百万円（前年同期比91.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に積み上がった売上債権が減少したものの、棚卸資産の増加や株価の変動に伴う投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ669百万円増加の89,741百万円となりました。

負債につきましては、支払債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ287百万円増加の48,168百万円となりました。

純資産につきましては、円安に伴う為替換算調整勘定及びその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末と比べ382百万円増加の41,573百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日決算発表時に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,074	7,475
受取手形、売掛金及び契約資産	13,479	11,646
電子記録債権	3,376	3,466
商品及び製品	6,842	7,345
仕掛品	4,580	4,984
原材料及び貯蔵品	5,232	5,386
その他	1,171	1,400
貸倒引当金	△172	△134
流動資産合計	41,585	41,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,093	6,103
機械装置及び運搬具（純額）	3,664	3,884
土地	17,379	17,380
リース資産（純額）	648	622
建設仮勘定	674	565
その他（純額）	461	477
有形固定資産合計	28,921	29,034
無形固定資産	372	380
投資その他の資産		
投資有価証券	9,269	9,542
退職給付に係る資産	1,944	2,116
繰延税金資産	1,751	1,594
その他	5,271	5,547
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	18,192	18,755
固定資産合計	47,485	48,170
資産合計	89,071	89,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,612	7,096
電子記録債務	2,109	2,186
短期借入金	13,531	12,705
未払費用	2,855	3,238
賞与引当金	1,150	1,653
その他	3,348	3,114
流動負債合計	29,607	29,994
固定負債		
長期借入金	9,254	9,048
リース債務	649	632
再評価に係る繰延税金負債	3,954	3,954
役員退職慰労引当金	147	152
役員株式給付引当金	3	3
退職給付に係る負債	3,198	3,317
資産除去債務	650	651
その他	413	412
固定負債合計	18,272	18,173
負債合計	47,880	48,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,066	1,066
利益剰余金	23,438	23,346
自己株式	△1,211	△1,212
株主資本合計	24,293	24,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,871	3,994
繰延ヘッジ損益	△2	△1
土地再評価差額金	8,772	8,772
為替換算調整勘定	3,875	4,218
退職給付に係る調整累計額	380	387
その他の包括利益累計額合計	16,898	17,372
純資産合計	41,191	41,573
負債純資産合計	89,071	89,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	14,418	15,260
売上原価	11,090	11,922
売上総利益	3,328	3,338
販売費及び一般管理費	2,579	2,717
営業利益	748	620
営業外収益		
受取利息	9	28
受取配当金	116	131
為替差益	—	2
持分法による投資利益	92	153
その他	55	67
営業外収益合計	274	384
営業外費用		
支払利息	115	100
為替差損	9	—
その他	34	53
営業外費用合計	159	153
経常利益	863	851
特別損失		
減損損失	61	37
特別損失合計	61	37
税金等調整前四半期純利益	801	813
法人税等	127	205
四半期純利益	673	607
親会社株主に帰属する四半期純利益	673	607

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	673	607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	457	122
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△436	189
退職給付に係る調整額	34	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△201	153
その他の包括利益合計	△146	473
四半期包括利益	527	1,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527	1,081

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	7,099	1,113	3,579	929	1,696	14,418	—	14,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87	35	0	28	119	272	△272	—
計	7,187	1,149	3,580	958	1,815	14,691	△272	14,418
セグメント利益又は セグメント損失(△)	693	△77	5	29	96	748	—	748

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	7,539	1,250	3,355	1,239	1,875	15,260	—	15,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	59	0	34	130	315	△315	—
計	7,629	1,310	3,355	1,274	2,005	15,575	△315	15,260
セグメント利益又は セグメント損失(△)	723	△210	△192	114	184	620	—	620

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	481百万円	400百万円